

「平成30年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取り組み」

明和町教育委員会

平成30年10月

本年4月17日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取り組みについて、以下の通りまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることも考慮しながら、今後の教育の一層の充実を図ってまいります。

※ 文部科学省が用いている調査結果を示す表記を、多気郡基礎学力検討委員会(平成19～21年度設置、その後学力向上推進会議に移行)が用いていた表記に改め、平均正答率を4段階にて結果を示している。

80%～ おおむね満足できると考えられる

70%～79% 一定身につけているがさらに伸ばしたい

60%～69% 一部課題がある

～59% 課題がある

1 各教科の総合結果および状況

小学校

- 国語A(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一定身につけているがさらに伸ばしたい。
- 国語B(活用)について、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。
- 算数A(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一部課題がある。
- 算数B(活用)について、今回出題された学習内容の知識・技能を活用する力に課題がある。
- 理科(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一定身につけているがさらに伸ばしたい。
- 理科(活用)について、今回出題された学習内容の知識・技能を活用する力に課題がある。

中学校

- 国語A(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一定身につけているがさらに伸ばしたい。
- 国語B(活用)について、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に一部課題がある。
- 数学A(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一部課題がある。
- 数学B(活用)について、今回出題された学習内容の知識・技能を活用する力に課題がある。
- 理科(知識)について、今回出題された学習内容の知識・技能について一部課題がある。
- 理科(活用)について、今回出題された学習内容の知識・技能を活用する力に一部課題がある。

2 各教科の領域別結果および状況

小学校

【国語A】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、知識技能が一定身についている。
- 「読むこと」は、一部課題がある。

【国語B】

- 「話すこと・聞くこと」については、全国平均正答率は上回っているが、一部課題がある。
- 「書くこと」「読むこと」の領域は、課題がある。

【算数A】

- 「数と計算」「図形」「数量関係」の領域において全国平均正答率を上回っているが、一部課題がある。
- 「量と測定」については、知識技能が一定身についているがさらに伸ばしたい。

【算数B】

- 「図形」については、全国平均正答率を上回っているが、一部課題がある。
- 「数と計算」「量と測定」「数量関係」は全国平均正答率を上回っているが、知識・技能の活用に課題がある。

【理科】

- 「生命」については、知識技能が一定身についているといえる。
- 「物質」「エネルギー」「地球」は、知識・技能の活用に課題がある。

中学校

【国語A】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域とも一定身につけているがさらに伸ばしたい。

【国語B】

- 「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、課題がある。特に「書くこと」は、課題がある。

【数学A】

- 「数と式」は、知識・技能が一定身につけているがさらに伸ばしたい。
- 「関数」は、課題がある。
- 「図形」は、一部課題がある。

【数学B】

- 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域とも、課題がある。特に「資料の活用」は、課題がある。

【理科】

- 物理的領域・生物的領域において、全国平均正答率を下回っているが、知識・技能が一定身につけている。
- 化学領域は、一部課題がある。
- 地学的領域は、平均正答率を上回っているが、課題がある。

3 各教科別の結果分析および状況

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語A、B…国語B
[]内の記号は、問題番号

小学校国語

(1) 調査問題の趣旨・内容

国語A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

(例) ■ 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。

- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。
- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使う。

国語B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

(例) ■ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。

(2) 領域別・設問別調査分析

話すこと・聞くこと

- ◇ (A) 図書館への行き方の説明として適切なものを選択できている。〔A1〕
- ◇ (B) 【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択できている。〔B1一〕
- ◇ (B) 【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択できている。〔B1二〕

書くこと

- ◆ (A) 【春休みの出来事の一部】の中で、点線部と棒線部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直すことに課題がある。〔A5〕
- ◆ (B) これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□を書くことに課題がある。〔B1三〕
- ◆ (B) 【おすすめする文章】の□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書くことに課題がある。〔B2二〕

読むこと

- ◆ (B) 山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことに課題がある。〔B3一〕
- ◆ (B) 【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C 最も心がひかれた一文とその理由の文章の□に入る内容を書くことに課題がある。〔B3二〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇ (A) 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択することができる。〔A6〕
- ◇ (A) 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。〔A8イウ〕

小学校算数

(1) 調査問題の趣旨・内容

算数A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く。
■ 二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ。
■ 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を正しく書く。
■ 示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ。

算数B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 示された考え方を解釈し、50秒、60秒の場合に適用して、その結果を表に整理することで、条件に合う時間を判断する。
■ 折り紙の枚数が足りる理由を、示された数量を関連付け、根拠を明確にして記述する。
■ 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述する。
■ メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述する。

(2) 領域別・設問別調査分析

数と計算

- ◆ (A) 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶことができる。〔A2〕
- ◇ (A) 3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書くことができる。〔A3〕
- ◆ (B) 横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書くことに課題がある。〔B5(1)〕

量と測定

- ◇ (A) 面積がそろっている㊦と㊧の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶことができる。〔A4(1)〕
- ◆ (A) ㊨と㊩の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶことに課題がある。〔A4(2)〕
- ◇ (A) 角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶことができる。〔A5(1)〕

図形

- ◇ (A) 円周率を求める式として正しいものを選ぶことに課題がある。〔A7(1)〕

数量関係

- ◆ (A) 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶことに課題がある。〔A8〕

- ◆ (B) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書くことに課題がある。〔B3〕(1)〕
- ◆ (B) 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶことに課題がある。〔B3〕(2)〕

小学校理科

(1) 調査問題の趣旨・内容

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解する。
 ■ 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解する。
 ■ ろ過の適切な操作方法を身に付ける。

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用する。
 ■ より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する。
 ■ 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想する。
 ■ 実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善する。

(2) 領域別・設問別調査分析

物質

- ◇海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶことに課題がある。〔42〕
- ◆食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶことができる。〔43〕
- ◆食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書くことに課題がある。〔44〕

エネルギー

- ◆回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶことに課題がある。〔3〕(2)〕
- ◆目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶことに課題がある。〔3〕(4)〕

生命

- ◇野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶことができる。〔1〕(1)〕
- ◆人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ〔1〕(4)〕

地球

- ◇流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶことができる。〔2〕(1)〕
- ◆流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶことに課題がある。〔2〕(2)〕
- ◆一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書くことに課題がある。〔2〕(3)〕

中学校国語

(1) 調査問題の趣旨・内容

国語A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する。
■ 図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する。
■ 「それは掛け価のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する。
■ 『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)。

国語B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く。
■ 二人に続いてする質問を書く。
■ 話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く。

(2) 領域別・設問別調査分析

話すこと・聞くこと

- ◇ (A) スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択することができる。 [A 1一]
- ◇ (B) 二人の質問の意図として適切なものを選択することができる。 [A 2一]
- ◇ (B) 二人に続いてする質問を書くことができる。 [A 2二]
- ◆ (B) ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する。 [A 2三]

書くこと

- ◇ (A) 図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択することができる。 [A 2一]
- ◆ (B) 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書くことに課題がある。 [B 1三]
- ◆ (B) 話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書くことに課題がある。 [B 3三]

読むこと

- ◇ (A) 「それは掛け価のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択することができる。 [A 3一]
- ◇ (A) 父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択することができる。 [A 3二]
- ◆ (B) グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択することに課題がある。 [B 1一]

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇ (A) 場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択することができる。 [A 7一]
- ◇ (A) 「それでは」の働きとして適切なものを選択することができる。 [A 7二]
- ◇ (A) 文脈に即して漢字を正しく読むことができる。 [A 8二 1・2・3]

- ◇ (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。〔A 8 三イ・ウ・キ〕
- ◆ (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。(彼はせきを切ったように話し始めた)〔A 8 三エ〕
- ◇ (A) 「心を打たれる」の意味として適切なものを選択することができる。〔A 8 四 1〕
- ◆ (A) 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くことに課題がある。〔A 8 四 2〕
- ◆ (A) 作品への助言として適切なものを選択することに課題がある。〔A 8 五〕
- ◇ (A) 『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)ことができる。〔A 8 六 1〕
- ◇ (A) 『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択することができる。〔A 8 六 3〕

中学校数学

(1) 調査問題の趣旨・内容

数学A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 絶対値が表す数を求める。文字式の計算をする。目的に応じて式を変形する。連立二元一次方程式を解く。
- 回転移動した図形をかく。2つの三角形が合同であるための条件について、正しい記述を選ぶ。
 - 反比例のグラフから表を選ぶ。一次関数について x の値の増加に伴う y の増加量を求める。
 - 与えられた記録から中央値を求める。確率について、正しい記述を選ぶ。

数学B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 回答用紙によるくじ引きを行う際の事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。
- 3つの計算の順番にしたがって求めた数について、予想した事柄が成り立つ理由を文字式を用いて説明する。
 - 与えられたグラフをもとに、ある地点での列車Aが通ってから列車Eが通るまでの間の時間を求める方法を説明する。
 - 条件を「平行四辺形ABCD」から「正方形ABCD」に変えて考え、新たな事柄を見いだして説明する。

(2) 領域別・設問別調査分析

数と式

- ◇ (A) 数直線上の点が表示する負の整数の値を読み取ることができている。〔A 1 (1)〕
- ◇ (A) $6a2b \div 3a$ を計算することができている。〔A 2 (2)〕
- ◇ (A) $a=3$, $b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求めることができている。〔A 2 (3)〕
- ◇ (A) 比例式 $x:20=3:4$ を解くことができている。〔A 3 (2)〕
- ◆ (B) はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成することに課題がある。〔B 2 (2)〕
- ◆ (B) 通常料金を a としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明することに課題がある。〔B 5 (2)〕

図形

- ◇ (A) 長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶことができている。〔A 7 (2)〕
- ◆ (B) 平行四辺形ABCDの外側に2つの点E, Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する道を立てて考え、証明することに課題がある。〔B 4 (2)〕

- ◆ (B) 平行四辺形 $ABCD$ を正方形 $ABCD$ に変えたときの四角形 $EBFD$ がどのような四角形になるかを説明することに課題がある。 [B4] (3)

関数

- ◇ (A) 比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることは相当数の生徒ができています。 [A9] (1)
- ◆ (B) 列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある。 [B3] (1)
- ◆ (B) A 駅からの道のりが 6 km の地点において、列車アが通ってから列車エが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明することに課題がある。 [B3] (3)

資料の活用

- ◇ (A) 反復横とびの記録の中央値を求めることができています。 [A14] (2)
- ◆ (A) 1 枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶことに課題がある。 [A15] (1)
- ◆ (A) 大小 2 つのさいころを同時に投げるとき、和が 8 になる確率を求めることに課題がある。 [A15] (2)
- ◆ (B) 放送計画で、1 日目が A、2 日目が B になる確率を求めることに課題がある。 [B1] (2)
- ◆ (B) 全校よりも 1 年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲 F が選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明することに課題がある。 [B1] (3)
- ◆ (B) S 社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書くことに課題がある。 [B5] (1)

中学校理科

(1) 調査問題の趣旨・内容

基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題

- (例) ■ 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘する。
■ アルミニウムを原子の記号で表す。

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題

- (例) ■ テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明する。
■ 1 つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘する。
■ 緊急地震速報を受け取ってから S 波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘する。
■ 探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだして探究を深めようとする。

(2) 領域別・設問別調査分析

物理

- ◆ オームの法則を使って、抵抗の値を求めることに課題がある。 [6] (2)
- ◇ 豆電球と豆電球型の LED の点灯の様子と電力との関係を指摘できる。 [6] (3)
- ◇ 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の知識と音の速さに関する知識を活用できる。 [7] (3)

化学

- ◇アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けることができる。〔8（1）〕
- ◆探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深め、アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことに課題がある。〔8（3）〕

生物

- ◇無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる。〔2（1）〕
- ◇植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている。〔9（1）〕

地学

- ◆風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することに課題がある。〔3（1）〕
- ◆植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することに課題がある。〔9（2）〕

4 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果分析による児童生徒の学習及び

生活習慣等の状況（◇・・・強み ◆・・・弱み）

（1）生活習慣について

- ◇児童生徒に基本的な生活習慣が身につけていることがうかがえる。これまでに町内の学校で積み重ねられてきた生活指導や食育の成果ともいえる。
- ◆「朝食を毎日食べている」中学生児童の割合が全国平均の割合を下回っている。朝食の必要性について、中学校においても指導をしていく必要がある。

（2）学習習慣について

- ◇ほとんどの項目で全国平均を上回っており、児童生徒に学習習慣が身につけていることがうかがえる。特に「自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合は小学校・中学校ともに全国平均を上回っており、自主的な学習習慣が定着しつつあると言える。
- ◆家庭学習の課題の与え方について、校内での共通理解をはかったという項目が全国平均を下回っており、児童生徒の学習習慣を定着させる上で、各校における教職員間の共通理解の下に立った取り組みが必要であると考えられる。
- ◆小学生児童の普段の学習時間について、昨年度よりも1時間以上学習する児童の割合は増えており（59.3%→63.9%）、また、全国平均との差も縮まってはいる（5.1%→2.3%）ものの、全国平均を下回っている。

（3）児童生徒の自己肯定感等について

- ◇ほとんどの項目で全国平均を上回っており、児童生徒に自己肯定感等が育っていると考えられる。それらは学校質問紙などの結果が示すように教師が児童生徒を認め、褒めようとする姿勢に起因するものと考えられる。

（4）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

- ◇ほとんどの項目で全国平均を上回っており、新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」による授業改善について、各校で意識されていることがうかがえる。

- ◆小学生児童の「学級の友達との間で（生徒間で）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。」割合が全国平均を下回っている。「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を進めていく必要がある。
- ◆中学校生徒の「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。」割合が全国平均を下回っている。様々な発表時の工夫について、小学校段階の指導に継続して指導する必要がある。

(5) 算数（数学）・理科の学習状況について

- ◆中学校で、数学・理科ともに「好きである」、数学の「授業内容がよく分かる」と答えた生徒が全国平均を下回っている。数学については、わからなさが数学嫌いに結び付いている可能性があり、授業改善につなげていく必要がある。
- ◆学校質問紙の結果が示すように算数（数学）では「補充的な学習」については各校で取り組まれているものの、「発展的な学習」については、弱みを感じる部分である。授業の両輪として補充的な学習及び発展的な学習を充実させていく手立てが必要である。
- ◆理科の指導として、実生活における事象との関連を図った指導や体験的な学習をすべての学校で充実させていく必要がある。

(6) 地域や社会と学校の連携・協働に関する状況

- ◇「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う」「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」割合が全国平均に比べ、5%以上高く、地域や社会との密接なつながりがうかがえる。
- ◆小中学生ともに「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」割合が全国平均を下回っており、小学校段階から地域社会とのかかわりを強化していく必要がある。
- ◆「新聞を週に1～3回以上読んでいる」「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。」児童生徒の割合が全国平均を下回っている。社会の出来事に興味をもち、ニュース番組や新聞に触れる機会を増やしていく必要がある。

(7) 調査結果の活用

- ◇本調査の「自校の結果分析と教育活動の改善に向けた活用、指導計画等への反映」「保護者や地域の人たちに対する公表や説明」について、すべての学校で取り組むことができている。

5 これまでの学力向上の取組の成果と課題

これまでの取組

- 全国学力・学習状況調査の自校採点による早期からの学習支援。
- ベネッセ総合学力調査の実施（小学校2年生～中学校2年生）と、結果分析による各校の学力向上に向けた取組。
- 町学力向上推進委員会における、全国学力・学習状況調査およびベネッセ総合学力調査の分析や学力向上の取組交流および実践報告会の実施。
- 多気郡学力向上推進会議における講師を招聘しての講演会の開催と実践交流。
- 指導主事による学校訪問と授業研究・事後検討会における指導・助言。
- hyper Q U結果分析による客観的な指標に基づくアセスメントをベースにした居心地のい

い学級づくりの推進。

- 学カアドバンス事業による夏季休業中の補充学習の実施。

成果と課題

教科に関する調査

【小学校国語】

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができる。
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことができる。（心を打たれる）
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる。（設備・消毒）
- 話合いの参加者として、質問の意図を捉えることができる。
- 計画的に話し合うために、司会の役割について捉えることができる。
- △ 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。
- △ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。
- △ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。
- △ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。
- △ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことに課題がある。

【小学校算数】

- 十進位取り記数法で表された数の大小について理解している。
- 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。
- 180° の角の大きさを理解している。
- △ 小数の除法の意味について理解することに課題がある。
- △ 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。
- △ 円周率の意味について理解することに課題がある。
- △ 百分率を求めることに課題がある。
- △ メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することに課題がある。
- △ 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することに課題がある。
- △ 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述することに課題がある。

【小学校理科】

- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。
- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。
- より妥当な考えをつくり出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。

- △ 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用することに課題がある。
- △ 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題がある。
- △ より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。
- △ 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題がある。
- △ 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用することに課題がある。
- △ 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することに課題がある。
- △ 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述することに課題がある。

【中学校国語】

- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができる。
- 書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成することができる。
- 文脈の中における語句の意味を理解することができる。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。
- 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることができる。
- 接続詞の働きについて理解することができる。
- 文脈に即して漢字を正しく読むことができる。
- 句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。
- 慣用句の意味を理解することができる。
- 古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができる。
- 古典に表れたものの見方や考え方を理解することができる。
- 質問の意図を捉えることができる。
- 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することができる。
- △ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。
- △ 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題がある。
- △ 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに一部課題がある。
- △ 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題がある。
- △ 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことに一部課題がある。
- △ 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに一部課題がある。

【中学校数学】

- 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる。
- 単項式どうしの除法の計算ができる。
- 文字式に数を代入して式の値を求めることができる。
- 簡単な比例式を解くことができる。

- 長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。
- 与えられた資料から中央値を求めることができる。
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
- △ 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している。
- △ 表などを利用して、確率を求めることができる。
- △ 与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることに一部課題がある。
- △ 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することに課題がある。
- △ 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある。
- △ 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することに課題がある。
- △ 発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことに一部課題がある。
- △ 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。
- △ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。
- △ 計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

【中学校理科】

- 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる。
- 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる。
- 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる。
- アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている。
- 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている。
- △ 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することに課題がある。
- △ 炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘することに課題がある。
- △ 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明することに課題がある。
- △ オームの法則を使って、抵抗の値を求めることに課題がある。
- △ アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見出すことに課題がある。
- △ 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することに課題がある。

6 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

- 基本的な生活習慣は一定身につけつつあるが、学級活動や食育の時間を通し、朝食の必要性を認識させるとともに、健全な食生活を自ら営むことが出来る知識や態度を養う。
- 家庭学習の課題の与え方について共通理解のもとに立った取り組みを行い、小学校段階からの学習習慣の確立を図る。

- 道徳教育、人権教育及び体験活動等を通じ、児童生徒の自己肯定感、自己有用感を熟成する。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現と授業改善を推進する。
 - ・各学校において、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを進めること。特に「活用する力」に視点をあて、事象や情報を分析する力や理由や方法を根拠を明らかにして、記述・説明する力の育成を図る。
 - ・自分の思いや考えを「書くこと」を日常化し、「書くこと」に対する児童の苦手意識を払拭させる。
- 各学校において、引き続き、すべての児童生徒が、基礎的な知識・技能を習得できる授業づくりを進めるとともに、発展的な学習を充実させる。
- ボランティア活動等の地域貢献活動と学校教育の連携を図るなど、小学校段階からの児童生徒の家庭、地域、社会とのつながりを大切にし、かかわりを強化する。
- 学力向上のPDCAサイクルを一層確立させる。
 - ・各学年段階で学習指導要領に基づいた学力が育成できているかどうかを検証する手立てと時期について検討し、年間の教育活動に無理なく位置づけられるようにしていく。
 - ・引き続き、検証結果から学校全体で成果と課題を把握し、日常的な取組につなげる仕組みづくりを進める。（全職員での自校採点、授業改善サイクル支援ネット活用等）
- 学力向上推進委員会において、全国学力・学習状況調査、総合学力検査の分析結果や学力向上の取組の交流を継続するとともに、より有効な内容・方法に改善していく。